

■小信号半導体素子を正しく安全に使用するために

小信号半導体素子(以下単に素子という)の開発、生産には品質、とりわけ信頼性には最大限の注意を払って、生産活動をしております。しかし、素子の信頼性は素子固有の要因だけでなく、使用条件によっても大きく影響されます。当社の素子を取り扱う際は、次に示す注意事項を読み、正しくご使用ください。

注意事項	
梱包・包装	当社から出荷される素子の梱包箱、内装材は一定の環境・条件に耐えられるようになっていますが、外部からの衝撃、雨水、汚染等にさらされますと、梱包箱が破れたり内装材が壊れて素子が露出する場合がありますので、取り扱いには十分注意してください。
運搬	<ol style="list-style-type: none"> 1) 梱包箱を高く積み上げて保管したり、梱包箱の上に重いものを乗せないでください。梱包箱が壊れ、荷崩れする危険があります。 2) 運送中は梱包箱を正しい向きに置いてください。逆さにしたり、立てかけたりすると不自然な力が加わり、壊れることがあります。 3) 投げたり落としたりすると素子が壊れることがあります。(ワレモノ注意) 4) 水に濡れないようにする必要があり、降雨、降雪時の運搬には濡らさないように注意してください。(水濡れ注意) 5) 以上の注意点の他、運搬時にはできるだけ機械的振動や衝撃を少なくするよう留意してください。
保管	<p>素子を保管するに当たっての注意点を以下に示します。これらに十分なる注意がされない場合、特性の劣化、半田付け性、外観不良等の発生原因にもなります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 直射日光を避け、できるだけ温度、湿度の変化の少ない室内に保存してください。(5~30℃, 40~60%RHの範囲が望ましい条件です) 2) 保管中の雰囲気は、有害なガスの発生がなく、塵埃の少ない状態にしてください。 3) 保管容器は静電気の帯びにくいものにしてください。 4) 保管中は素子に、過大な荷重がかからないようにしてください。
長期保管	長期間の保管が必要な場合は、未加工の状態で保管してください。また非常に悪い環境におかれた場合や長期に保管した素子を使用の際は、外観に傷、汚れ、錆び等がないことを確認の上、使用してください。
定格・特性	絶対最大定格とは、半導体メーカーによって、指定される「半導体素子能力」または「使用できる条件の限界値」のことで、半導体素子は通常、この絶対最大定格方式により規定されています。したがって、これを超えて使用した場合、素子は劣化または破壊を起こします。素子の劣化および破壊を未然に防ぎ、機器における高信頼度を実現するためにまた素子を特性上及び経済性の面から最も有効に動作させるために、記載の定格値内及び規格値内でご使用ください。
極性	誤挿入による素子の破壊、劣化を防ぐため、外形図に記載してあります端子配置どおりに、極性を十分確認の上取り付けてください。極性を間違えて通電しますと、短絡事故を起こす恐れがありますので、十分注意してください。
配置・使用	<p>半導体素子はできるだけ熱を避けるなどして、危険を除く必要があります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 動作時は素子が熱を持っていますので、けっして手で触れないでください。 2) 素子付近に発熱源を置かないようにしてください。